



VFD256 ユーティリティソフト

VFD256DISP

取扱説明書

目次

1. はじめに	1
2. インストール手順.....	1
3. VFD256DISP 使用方法	4
3.1 実行時パラメータ	7
3.2 INI ファイル	11

1. はじめに

「VFD256DISP」は、WindowsPC用VFD256ユーティリティソフトウェアです。
本プログラムを使用することで、VFD256への表示をPC上から簡単に行うことができます。
ダイアログを使用した表示の他、パラメータとして表示メッセージを付加してEXEを実行することもできるため、お客様のプログラムからEXEを呼び出すことで、VFD256にメッセージを表示させることができます。

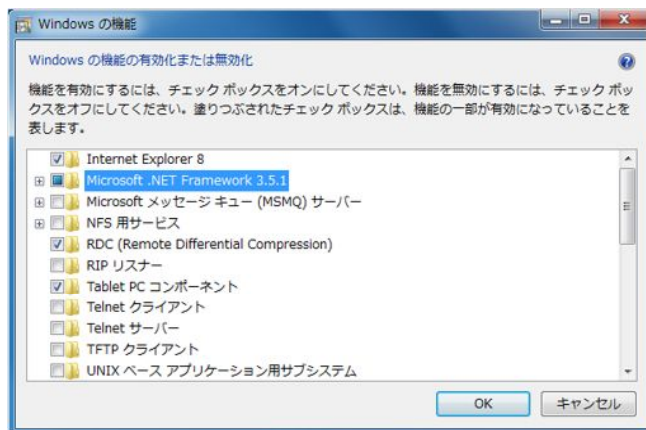
対応 OS : Windows7 32bit 版、64bit 版
Windows8 32bit 版、64bit 版
Windows8.1 32bit 版、64bit 版
[.Net Framework3.5] (Windows7 64bit 版で開発)

2. インストール手順

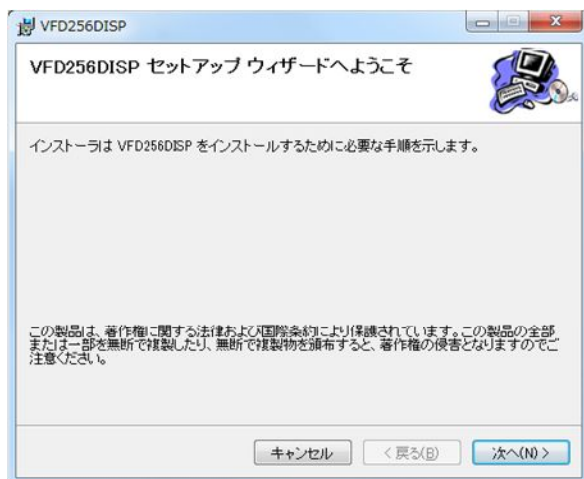
「VFD256DISP」のインストール手順について説明します。
VFD256添付のCD-ROMの「Setup」フォルダ下に以下のファイルがあることを確認してください。

- setup.exe
- Setup.msi
- DotNetFX35
- WindowsInstaller3_1

1. スタートメニューから「コントロールパネル」 - 「プログラム」 - 「プログラムと機能」 - 「Windowsの機能の有効化または無効化」を選択し、「Microsoft .NET Framework 3.5」のチェックボックスをオンにしてください。



2. VFD256 添付の CD-ROM の「Setup」フォルダ下「setup.exe」をダブルクリックします。
3. 「VFD256DISP セットアップウィザードへようこそ」画面が立ち上がります。
「次へ」をクリックします。

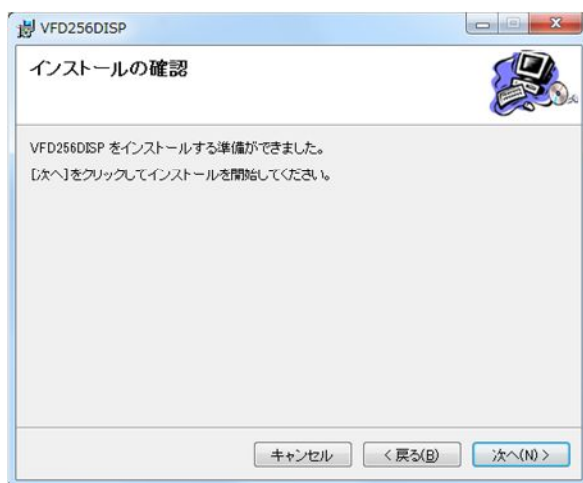


4. 「インストールフォルダの選択」画面が表示されます。
「次へ」をクリックします。



5. 「インストールの確認」画面が表示されます。

「次へ」をクリックします。



6. 「インストールが完了しました。」画面が表示されると、インストール完了です。



3. VFD256DISP 使用方法

インストール後、VFD256DISP を立ち上げると以下のダイアログが表示されます。



① 設定

設定ボタンを押すと以下の設定画面が表示されます。



- 「**接続方法**」 VFD256 と PC との接続方法を指定します。
- 「**表示テスト**」 サンプル文字列を VFD256 に表示します。表示内容は VFD256DISP.INI で定義した [DefaultText] の Text1、Text2(「3.2 INI ファイル」参照)です。
- 「**画面クリア**」 VFD256 の画面をクリアします。
- 「**閉じる**」 設定画面を閉じます。

② 最後に送信したメッセージのタイトル

VFD256 に最後に送信したメッセージのタイトルが表示されます。

③ 登録モード

このボタンを押すと、「登録モード」⇒「表示モード」⇒「登録モード」の順で変わります。

「登録モード」の状態では A から J のボタンを押すと以下の登録画面が表示されます。

「表示モード」の状態では A から J のボタンを押すと A から J に登録した文字列が VFD256 に表示されます。

以下は登録方法です。

- 「**タイトル**」 ここで入力した文字列がタイトル名になります。
- 「**表示モード**」 VFD256 に表示させる行数、文字サイズを指定します。
- 「**1 行目**」 VFD256 の 1 行目に表示させる文字列を入力します。
- 「**2 行目**」 VFD256 の 2 行目に表示させる文字列を入力します。
- 「**3 行目**」 VFD256 の 3 行目に表示させる文字列を入力します。
- 「**4 行目**」 VFD256 の 4 行目に表示させる文字列を入力します。
- 「**スクロール**」 ここで入力した文字列が以下の設定値で画面横にスクロールします。
 - 「**文字サイズ**」 …… 8,16,24,32dot から選択します。(8dot は半角のみ)
 - 「**表示位置**」 …… 0~7(VFD256 画面の縦位置)から選択します。
 - 「**回数**」 …… スクロールさせる回数を指定します。
- 「**テスト送信**」 「文字表示」欄、「スクロール」欄に入力した文字列が VFD256 に表示されます。
- 「**C**」 文字列をクリアします。
- 「**画面クリア**」 VFD256 の画面をクリアします。
- 「**登録**」 メッセージを登録します。
- 「**閉じる**」 登録画面を閉じます。

④ ファイル読込

VFD256DISP の A～J ボタンに登録したメッセージは VFD256DATA.INI ファイル(「3.2 INI ファイル」参照)に保存されます。VFD256DISP.EXE を起動すると、この INI ファイルを自動で読み込み、VFD256DISP 画面に表示します。

上記 INI ファイル以外にも VFD256 に表示させるメッセージを保存することができます。

(例：VFD256DATA_2.INI) 用途ごとに表示内容を変えたい場合などに便利です。

メッセージの作成・保存の方法は VFD256DATA.INI と同様に行います。保存後、「ファイル読込」ボタンから該当 INI ファイルを読み込み、メッセージの登録変更や VFD256 への表示を行うことができます。

⑤ タブ

タブ名で右クリックするとタブ名を変更することができます。

⑥ AからJの各ボタン

「登録モード」の状態では A から J のボタンを押すと登録画面が表示されます。

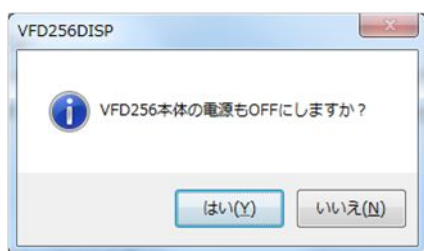
「表示モード」の状態では A から J のボタンを押すと登録したメッセージが VFD256 の画面に表示されます。

⑦ 画面クリア

VFD256 の画面をクリアします。

⑧ 終了

終了ボタンを押下すると、以下のダイアログが表示されます。



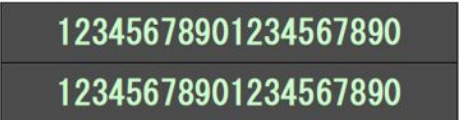
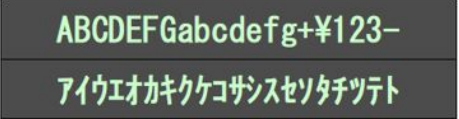
「はい」 VFD256 本体の電源を OFF にしてアプリケーションを終了します。

「いいえ」 VFD256 本体の電源は ON のままでアプリケーションを終了します。

3.1 実行時パラメータ

インストールされた VFD256DISP.EXE を外部プログラムとして呼び出すことができます。EXE を呼び出す際に、コマンドプロンプトから以下のようにパラメータを入力してメッセージを VFD256 に送ります。

VFD256DISP.EXE /TEST1

/INI	<p>デフォルト値の VFD256DISP.INI ファイルをカレントパスへ作成します。</p> <p>古いパラメータの入った INI ファイルはデフォルト値で上書きされます。 (デフォルト値は「3.2 INI ファイル」を参照)</p> <p>古い INI ファイルが必要であれば、実行前に保存してください。</p>
/TEST1	<p>2 行表示、文字サイズ 24dot で以下のテストメッセージを表示します。</p> 
/TEST2	<p>2 行表示、文字サイズ 24dot で以下のテストメッセージを表示します。</p> 
#Filename	<p>2 行表示、文字サイズ 24dot で指定したファイルの先頭 40 文字（半角英数カナ）を表示します。</p> <p>※全角の場合は先頭 20 文字（全角英数カナ漢字）</p>

#	<p>2行表示、文字サイズ 24dot で デフォルトファイルの先頭 40 文字（半角英数カナ） を表示します。 デフォルトファイルは VFD256DISP.INI の[File]の NAME で指定します。 ※全角の場合は先頭 20 文字（全角英数カナ漢字）</p>
'message'	<p>2行表示、文字サイズ 24dot で 指定したメッセージ最大 40 文字（半角英数カナ） を表示します。 ※全角の場合は先頭 20 文字（全角英数カナ漢字）</p>
-message	<p>2行表示、文字サイズ 24dot で 指定したメッセージ最大 40 文字（半角英数カナ） を表示します。 ※全角の場合は先頭 20 文字（全角英数カナ漢字）</p>
/CLS	表示をクリアします。
なし	パラメータを指定しない場合、ダイアログを表示します。
/Ma "msg1" "msg2" (※)	<p>1 行目に msg 1 を文字サイズ 24dot で表示します。 2 行目に msg2 を文字サイズ 24dot で表示します。</p>
/Mb "msg1" "msg2" "msg3" "msg4" (※)	<p>1 行目に msg 1 を文字サイズ 16dot で表示します。 2 行目に msg2 を文字サイズ 16dot で表示します。 3 行目に msg3 を文字サイズ 16dot で表示します。 4 行目に msg4 を文字サイズ 16dot で表示します。</p>
/Mc "msg1" "msg2" "msg3" (※)	<p>1 行目に msg 1 を文字サイズ 16dot で表示します。 2 行目に msg2 を文字サイズ 16dot で表示します。 3 行目に msg3 を文字サイズ 16dot で表示します。</p>

/Md "msg1" "msg2" "msg3" (※)	1 行目に msg 1 を文字サイズ 16dot で表示します。 2 行目に msg2 を文字サイズ 32dot で表示します。 3 行目に msg3 を文字サイズ 16dot で表示します。
/Me "msg1" "msg2" "msg3" (※)	1 行目に msg 1 を文字サイズ 16dot で表示します。 2 行目に msg2 を文字サイズ 24dot で表示します。 3 行目に msg3 を文字サイズ 24dot で表示します。
/Mf "msg1" "msg2" "msg3" (※)	1 行目に msg 1 を文字サイズ 16dot で表示します。 2 行目に msg2 を文字サイズ 16dot で表示します。 3 行目に msg3 を文字サイズ 24dot で表示します。
/Mg "msg1" "msg2" (※)	1 行目に msg 1 を文字サイズ 32dot で表示します。 2 行目に msg2 を文字サイズ 24dot で表示します。
/Mh "msg1" "msg2" (※)	1 行目に msg 1 を文字サイズ 24dot で表示します。 2 行目に msg2 を文字サイズ 32dot で表示します。
/Mi "msg1" "msg2" (※)	1 行目に msg 1 を文字サイズ 16dot で表示します。 2 行目に msg2 を文字サイズ 16dot で表示します。
/Mj "msg1" "msg2" (※)	1 行目に msg 1 を文字サイズ 16dot で表示します。 2 行目に msg2 を文字サイズ 32dot で表示します。
/Mk "msg1" "msg2" (※)	1 行目に msg 1 を文字サイズ 16dot で表示します。 2 行目に msg2 を文字サイズ 48dot で表示します。
/Ml "msg1" (※)	1 行目に msg 1 を文字サイズ 48dot で表示します。
/Mm "msg1" (※)	1 行目に msg 1 を文字サイズ 64dot で表示します。

<p>/SET-P 接続方法-B ボーレート /SET-P 接続方法 /SET-B ボーレート</p>	<p>この SET パラメータは、上記パラメータの最初に付加して使用します。</p> <p>「接続方法」には、シリアル接続の場合、接続するシリアルポート番号として、COM 1 ,COM 2 等、USB 接続の場合は、USB を設定します。</p> <p>「ボーレート」は使用するボーレート値を設定します。(出荷時固定 38400)</p> <p>※SET パラメータで指定した「接続方法」「ボーレート」は INI ファイルの値より優先されます。</p> <p>例 1 : VFD256DISP.EXE /SET-PUSB /MI [msg1]</p> <p>例 2 : VFD256DISP.EXE /SET-PCOM3-B9600 /CLS</p> <p>例 3 : VFD256DISP.EXE /SET-B9600 'abcdefg'</p>
--	---

(※) 文字列内に、「"」を表示させたい場合は「"'"」と入力して下さい。

3.2 INI ファイル

インストールしたユーティリティプログラムの入ったフォルダに、以下の3つのINIファイル「VFD256DISP.INI」「VFD256DATA.INI」「VFD256TAB.INI」があり、起動時に使用されます。インストール後やINIファイルが存在しないときは、最初のVFD256DISP実行時に初期値にて自動的に作成されます。

VFD256DISP.INI

このINIファイルにより、以下の項目について指定ができます。

- ・ 接続方法 USB,COM1,COM2
- ・ ボーレート 38400
- ・ 出力メッセージのファイル名
- ・ 「表示テスト」ボタンを押した時、VFD256の1,2行目に表示する文字列

以下は、VFD256DISP.INIファイルのデフォルト値です。

[Access]	
Port=USB	<i>USB または接続するシリアルポート番号</i>
Baud=38400	<i>ボーレート</i>
	<i>(Port がシリアルポート番号の場合に使用)</i>
[DefaultText]	
Text1=ABCDEFGHabcdfg+¥123-	<i>表示テストボタンを押下時 1 行目に表示する文字列</i>
Text2=アイエカキクサシセチフ	<i>表示テストボタンを押下時 2 行目に表示する文字列</i>
[File]	
NAME=VFD256.txt	<i>ファイルでメッセージを送信する場合のファイル名</i>

※ 斜体文字はこのドキュメントでの注釈です。INI ファイルには記述しません。

VFD256DATA.INI

VFD256DISP のタブ 1 からタブ 5 の A から Z の各ボタンに登録した情報が VFD256DATA.INI ファイルに以下のフォーマットで保存されます。

```
[Tab1_ButtonA]
Title=          タブ1 ボタンAのタイトル
Mode=          タブ1 ボタンAの表示モード Ma、Mb、・・・、Mm
Text1=         タブ1 ボタンAのVFD1行目に表示する文字列
Text2=         タブ1 ボタンAのVFD2行目に表示する文字列
Text3=         タブ1 ボタンAのVFD3行目に表示する文字列
Text4=         タブ1 ボタンAのVFD4行目に表示する文字列
SFont=         タブ1 ボタンAのスクロール文字サイズ 8, 16, 32, 64
SPos=         タブ1 ボタンAのスクロール表示位置 0、1、・・・、7
SNum=         タブ1 ボタンAのスクロール回数 0～
SText=        タブ1 ボタンAのスクロール文字列
               全角 50 文字(半角 100 文字)

[Tab1_ButtonB]
Title=          タブ1 ボタンBのタイトル
Mode=          タブ1 ボタンBの表示モード Ma、Mb、・・・、Mm
Text1=         タブ1 ボタンBのVFD1行目に表示する文字列
Text2=         タブ1 ボタンBのVFD2行目に表示する文字列
Text3=         タブ1 ボタンBのVFD3行目に表示する文字列
Text4=         タブ1 ボタンBのVFD4行目に表示する文字列
SFont=         タブ1 ボタンBのスクロール文字サイズ 8, 16, 32, 64
SPos=         タブ1 ボタンBのスクロール表示位置 0、1、・・・、7
SNum=         タブ1 ボタンBのスクロール回数 0～
SText=        タブ1 ボタンBのスクロール文字列
               全角 50 文字 (半角 100 文字)

...
...
...

[Tab1_ButtonC]から[Tab5_ButtonJ]までは省略
```

※ 斜体文字はこのドキュメントでの注釈です。INI ファイルには記述しません。

VFD256TAB.INI

VFD256DISP のタブ名は VFD256TAB.INI ファイルに以下のフォーマットで保存されます。
各タブ名のデフォルト値は以下の通りです。

[TabName]

TabText1=タブ 1

タブ 1 の名前

TabText2=タブ 2

タブ 2 の名前

TabText3=タブ 3

タブ 3 の名前

TabText4=タブ 4

タブ 4 の名前

TabText5=タブ 5

タブ 5 の名前

※ 斜体文字はこのドキュメントでの注釈です。INI ファイルには記述しません。

タイトル	VFD256 ユーティリティソフト VFD256DISP 取扱説明書
初版発効日	2014 年 2 月 26 日
編集管理番号	884
版数	第 2.0 版
版管理日	2014 年 2 月 26 日
著作者	常山 明子
管理ファイル	VFD256DISP_2.0_20140226.docx
発行元	テクノベインズ株式会社 東京都文京区湯島 3-31-4 〒113-0034 ツナシマ第 1 ビル 電話:03-3832-7460 http://www.technoveins.co.jp